

**EDF**The Education for Development Foundation  
มูลนิธิเพื่อการพัฒนาการศึกษาEDF WAS AWARDED  
"NGO OF THE YEAR 2012"

# ダルニーフォーラム

第三十一号

2019年8月

www.edfthai.org/jp

## 豚やカエルが子供たちを救うってご存知ですか? ＝地方の学校の自立支援活動にご参加ください＝



タイの地方に居住する子供たちの初等中等教育進学率は以前に比べて向上しつつあると言えます。一つの大きな要因は、各行政区(タンボン)にある小規模の小学校では政府の方針を受け、中学校の教育も合わせて行われるようになったからです。これらの学校は「教育機会を広げる学校」と呼ばれています。子供たちに中学校3年生までを修了する機会を与えるのです。遠くの学校に通う必要がないため、保護者の金銭面での負担が軽減されることができるとは大きなメリットです。もし近隣に中学校がない場合、多くの家庭で費用面が問題となり、子供を進学させる事が出来なくなるかもしれません。

この方針のおかげで地方の子供たちの進学率が向上しました。その一方で、大規模学校と同等の教育レベルを実現する為の諸問題が発生しています。教育省のデータによると、2018年における「教育機会を広げる学校」の数は全国で7,064校となり、過去20年間に1,000校以上が増加しました。教育がタイ各地の子供達に拡充し、中学校進学率は80%になりました。

しかし同時に、研究と教員からの聞き取りから、以下の問題が明らかになってきました。

### 1. 中学校教員の不足

以前は小学校であったため、中学校のカリキュラムに即した教員が不足し、専門外の教科を教える必要が発生しています。例えば理科や数学の先生が社会の科目も教えるのはよく見られる現状です。

### 2. 生徒数急増への対応

以前は小学校であったため、中学校までに拡充した際に生徒数が著しく増加しました。しかしながら、政府から教育委員会経由で各学校に配分される予算は従来のみです。そのため、生徒用の図書や教材、スポーツ用具等の購入予算の問題

が発生しています。更に、大部分の学校が抱えている問題は給食のことです。小学校の児童分の予算はありますが、中学校の生徒分の予算がないのです。しかし子供の健康を考え、学校は全員分の給食を用意します。限られた予算で全員分を用意する必要があり、私達EDFが訪問した際も、メニューがご飯とおかず1品のみといった事が度々あります。これでは栄養不足です。学校側も努力しており、野菜や果物の栽培や、鶏・ナマズなどを飼育、養殖することにより、給食に使用し、余剰分は販売して予算を補充していますが、決して十分とは言えません。

今回、EDFでは、そんな学校の子供たちのために3つタイプの支援プロジェクトを始めます。

1. 「図書、教材の購入」を支援する寄付
2. 「スポーツ用具の購入」を支援する寄付
3. 「給食材料の購入」を支援する寄付

この新しい支援活動への皆様の積極的なご参加を得て、全ての子供達が通う学校で、

- 最新の図書や教材が整い、
- 健康増進のための運動用品が準備され、
- 年齢に適した心身の成長を促すための栄養十分な給食がある、

といった状況を実現し、夫々の学校が、子供達が心身共に大切な成長時期を過ごせることが出来る場となり得る為の環境づくりを目指しております。

当プロジェクトにご参加、ご支援戴ける方は、ご希望タイプをご選択の上、同封の申込用紙をEDFまでご送付ください。皆様の暖かい力強いご支援を心からお願い申し上げます。

# ご自身、ご家族やお友達とご一緒に毎日の貯金感覚で、「ダルニー奨学金」をサポートいただけませんか。



ご存知の通り、私共の活動は、多くの在タイ日本人、日本企業の皆様から様々な形でご協力いただいております。中でも、数年前から始めました募金箱キャンペーンは、各企業の従業員の方々や、各店頭での顧客の方々からの期待を上回るご参加により、2019年度では、60万パーツに迫る募金が集められ、97名の子供達が中学校3年間就学のチャンスを得ることが出来ました。

今回、写真の様な、シンプルで可愛い貯金箱を作りました。皆様の任意のご寄付で金額の多少に関係なく気軽にEDFがお送りする円筒形の貯金箱にお金を入れていただきますようお願い致します。多くの方々の気軽な参加で「思いやりの輪」を広げて行ければと願っております。

## 実施期間

2019年8月～2020年5月31日まで(10ヵ月間)

## ご協力方法

2020年度が終了する2020年5月末までに貯金された金額は、下記のいずれかの方法でEDF宛にお届けいただく存じます。

- ① 銀行振り込みの上、振込み証明書をEDFまでご送付いただく。(Eメール、FAX又は郵送)
- ② クラブタイランドや東京堂書店、フジスーパーの募金受付コーナーで送金用の用紙と共に支払いただく。

## ご支援に対しEDFからお届けするもの

- 税控除対象の領収書
  - ご希望によりですが、2,000パーツごとに中学生一人一年分の奨学金として充当します。
- ※お届けしました募金箱は、ご協力いただいた皆様に差し上げますので、引き続き、募金活動をお続け頂ければ最高ですが、ご自身の貯金箱としてお使い頂いても結構です。尚、写真のような貯金箱が品切れの場合、別の形の貯金箱を差し上げることもあります。
- ※貯金箱が締め切り前にいっぱいになりましたら、その時点でご送金戴き、その後も引き続き継続貯金いただくこと大歓迎です!

ご興味をお持ち戴きましたら、同封させていただきました申込書にご記入の上、EDFまでお送り下さい。是非とも宜しくお願い致します。

## 2019年度奨学金の実績報告

2019年度(2018年6月1日から2019年5月31日)はタイの子どもたちへの教育機会提供支援に関し、皆様より様々な面で大変お世話になり、どうもありがとうございました。2019年度募金活動の実績は、昨年度よりやや増加し、7,977人分(昨年度7,545人分)でした。この内、募金箱からは約97人分584,224.25パーツでした。また、来年度2020年度の奨学金募集も既に開始していますので引き続きご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。